

編集後記

『マレーシア研究』第3号をお届けします。本号は、2013年度の学会誌発行事業の成果物ですが、前号に引き続き今号も刊行が半年ほど遅れてしまいました。この遅れをなるべく早く解消すべく、今後取り組んでいきたいと思えます。

本号では、「論説」として、ジャウイ月刊誌『カラム』に関する研究プロジェクトの成果として投稿された論文4編を、査読過程を経て掲載しました。これらに加

え、書評1編と12名の会員によるエッセイを載せました。次号についても、会員のみならずからの積極的な投稿をお待ちしております。(金子芳樹)

〔編集委員会〕

金子芳樹(委員長)、田村慶子(副委員長)、山本博之、井上真

第4号の投稿募集

2014年度発行の第4号への投稿を募集します。下記の投稿要領およびJAMSウェブサイトに掲載されている募集要領に沿って原稿をお送りください。

・第4号掲載分の締め切り：2014年12月31日

・投稿先：編集委員会

(malaysia_studies@jams92.sakura.ne.jp)

投稿要領

『マレーシア研究』は日本マレーシア学会の会誌であり、広い意味での「マレーシア研究」に関する論説、研究ノート、書評論文、および書評を掲載する。刊行は1年に1回とし、投稿は随時受け付ける。

1. 投稿資格：会費を納めた会員および編集委員会が依頼した執筆者とする。
2. 投稿内容：未発表のものに限る。ただし、学会、研究会での口頭発表はこの限りではない。また、同一の原稿を本誌以外に同時に投稿することはできない。
3. 使用言語：投稿原稿で使用できる言語は日本語とする。ただし、注記などにおいてはその他の言語を使用できる(日本語・アルファベット以外の文字を使う場合は編集部と相談すること)。また、採用された原稿については英文要旨を併せて掲載する。
4. 原稿の種類：論説、研究ノート、書評論文、書評の4種類とする。投稿原稿の枚数は40字×30行を1枚と換算して、論説が15~20枚、研究ノートが10~20枚、書評論文が5~10枚、書評が2~5枚とする(いずれも注・図表・参考文献を含む)。原稿に挿入される図表については、大小にかかわらず3点を1枚と換算する。
5. 執筆要領：投稿に際しては、本学会のホームページ

に掲載された「執筆要領」に準拠した完成原稿を提出する。また、論説、研究ノート、および書評論文については、論文要旨(1200字程度)を提出する。

6. 査読制度：投稿された原稿は、レフェリーによる審査結果を考慮の上、編集委員会が採否を決定する。
7. 英文要旨：採用された場合には約400語の英文要旨を提出する。英文要旨は提出前にネイティブ・チェックを受ける。ネイティブ・チェックにかかる経費は投稿者が負担するものとする。また、編集委員会が必要と考えた場合、同委員会は投稿者の経費負担によりネイティブ・チェックをかけることがある。
8. 著作権：本誌に掲載されたすべての原稿の著作権は日本マレーシア学会に帰属する。なお、原著者が本誌に掲載された文章を他の出版物に再録しようとする場合には、編集委員長に申請し許可を得る。
9. ホームページ上での公開：『マレーシア研究』に掲載されたすべての原稿は、日本マレーシア学会のホームページにて公開する。
10. 投稿先：投稿先および問い合わせ先は下記のとおりとする。なお、投稿に際して、投稿者は、氏名(ふりがな)、所属、連絡先の住所・電話番号・E-mailアドレス、投稿題目、原稿の種類を明記する。

『マレーシア研究』第3号

発行：2014年10月30日

発行者：日本マレーシア学会

(ウェブサイト) <http://jams92.org/>

(連絡先) 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田下阿達町46

京都大学地域研究統合情報センター 山本博之研究室

発行責任者：富沢寿勇

編集責任者：金子芳樹

Malaysian Studies Journal

Vol. 3 (October 30, 2014)

Editorial Office: Japan Association for Malaysian Studies (JAMS), c/o Yamamoto Hiroyuki, Center for Integrated Area Studies, Kyoto Univ., 46 Shimoadachi-cho, Yoshida, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501, Japan.

Website: <http://jams92.org/>

© 2014 Japan Association for Malaysian Studie (JAMS)